



ヒートアイランド対策を推進します ～18年度の都と区の事業総額は32億円～

都は東京都区部のヒートアイランド対策の推進を図るため、区との連携により、「ヒートアイランド対策推進エリア」を中心に、保水性舗装、屋上緑化、壁面緑化などの各種事業を集中的に実施しています。18年度の都区によるヒートアイランド対策事業費総額は32億円となりました。（詳細は裏面参照）

このうち、新規事業として、クールタウンモデル推進事業、ドライミスト装置を設置する事業者への支援、クールルーフ推進事業を実施しています。

1 モデル街区でヒートアイランドのシミュレーションを実施します

クールタウンモデル推進事業として、ヒートアイランド対策推進エリア内から、丸の内、有楽町、西新宿、大崎駅西口をモデル街区として選定し、街区単位でのヒートアイランド対策を講じた際の環境緩和効果、費用対効果をシミュレーションし、最適な対策メニューの効果予測・評価をします。

- ① モデル街区は再開発事業タイプ、既存ビル改修タイプ、ビル建替タイプなどのさまざまなタイプの街区を選定しました。
- ② 地球シミュレータセンター（独立行政法人 海洋研究開発機構）のスーパーコンピュータを使用し、1mメッシュの対策ケースをシミュレーションします。
- ③ シミュレーションでは、モデル街区での気温や体感温度の低減効果及びその周辺地区への波及効果を予測・評価します。

2 ドライミスト装置の設置に補助を実施します

人工的な微細な霧を発生させ、気化熱により周辺の気温を下げるドライミスト装置の普及を目指すため、この装置を設置する事業者に対し、設置費用の補助事業を公募しました。補助事業者として以下の2件を決定し、8月1日までにドライミスト装置を稼働させる予定です。

- ① 戸越銀座商店街（品川区）、散布面積約200㎡
- ② 秋葉原駅西側交通広場内（千代田区）、散布面積約135㎡

3 屋上緑化・高反射率塗料の施工に補助を実施します

都と区の連携事業として設立したクールルーフ推進協議会（千代田区、中央区、港区、新宿区、台東区、品川区、目黒区、東京都ほか7団体）において、屋上緑化や高反射率塗料を実施する事業者には費用の1/2を補助するクールルーフ推進事業を実施しています。

- ① 第1回公募（6月2日締切） 屋上緑化2件、高反射率塗料4件の事業が決定しました。
- ② 第2回公募（8月1日～9月7日）
- ③ 第3回公募（10月2日～10月31日予定）

なお、本事業は環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」を活用しており、平成19度も引き続き、公募を予定しています。

※ 2, 3については、東京都環境局ホームページ(<http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/heat/>)を参照してください。

【問い合わせ先】

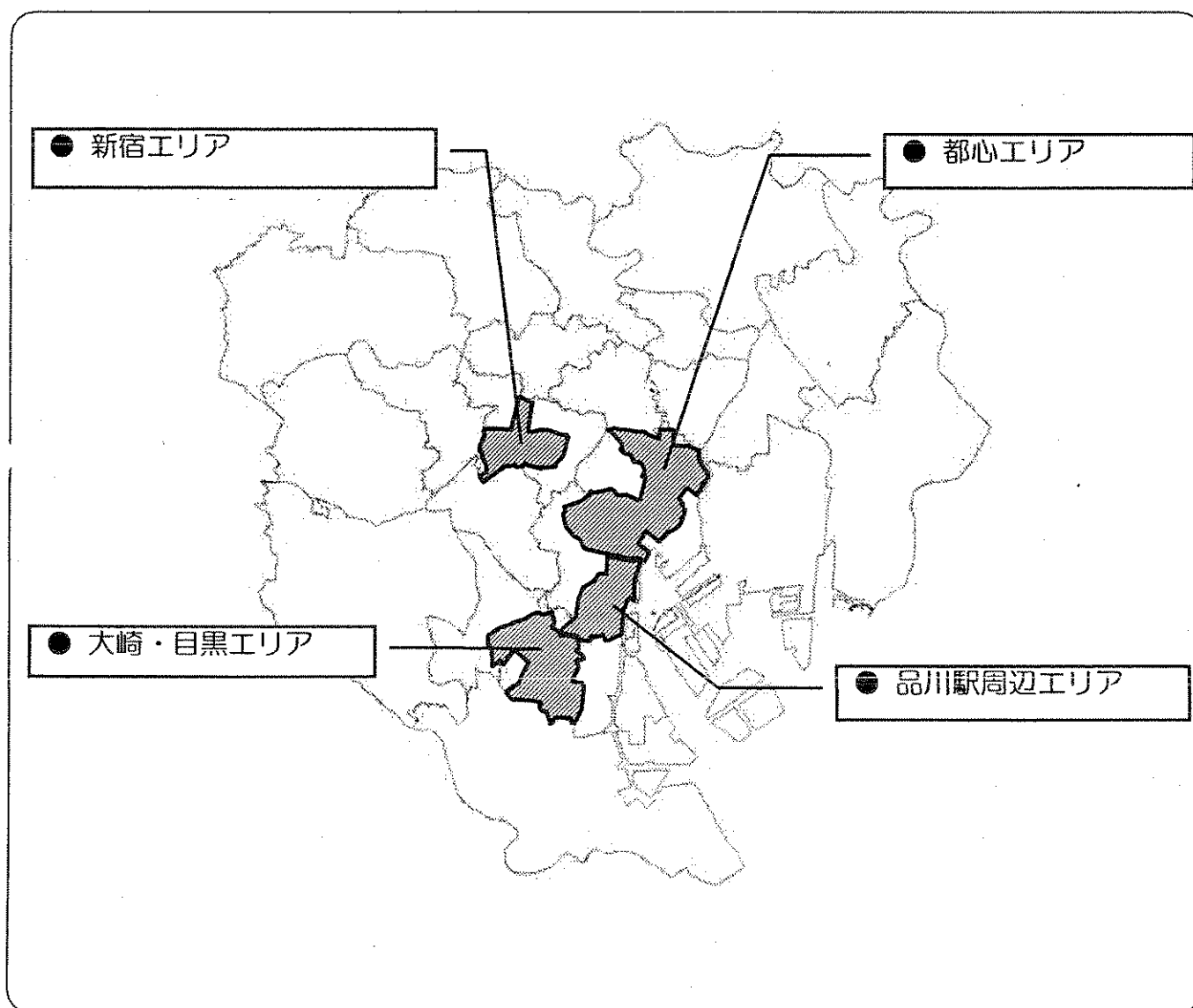
環境局 都市地球環境部 計画調整課 木村・井上
電話 03-5388-3423（直通） 都庁内線 42-760

ヒートアイランド対策推進エリア

東京都は、平成17年4月、23区におけるヒートアイランド現象の発生要因とされる人工排熱や地表面被覆の状況等が、大気に与える影響(熱負荷)を示した「熱環境マップ」を作成し、これに基づき、「ヒートアイランド対策推進エリア」として区部4箇所を設定しました。

「ヒートアイランド対策推進エリア」では都市再生の一環として、民間再開発等における対策の誘導とともに、保水性舗装、屋上緑化、壁面緑化等を重点的に実施していきます。

また、この推進エリアは、国の「地球温暖化・ヒートアイランド対策に関するモデル地域」に採択されており、国の施策とも連携しながら、対策を推進していきます。



18年度・都区によるヒートアイランド対策事業一覧

エリア	事業	主な事業箇所	事業主体
都心エリア	クールタウンモデル推進事業	丸の内・有楽町地区	環境局
	ドライミスト設置	秋葉原駅西側交通広場内	環境局
	保水性舗装	丸の内、日比谷公園、霞ヶ関、永田町、芝公園、 神田須田町、大手町、芝大門一丁目、新橋二丁目	建設局、千代田区、港区
		日比谷公園	建設局（効果測定：環境局）
	遮熱性舗装	新橋二丁目	港区
	街路樹再生	行幸通り、大手町	建設局、千代田区
屋上緑化	芝給水所	水道局	
新宿エリア	クールタウンモデル推進事業	西新宿地区	環境局
	保水性舗装	西新宿・新宿副都心3号線、若松町・大久保通り	建設局
	街路樹再生	新宿副都心線	建設局
	壁面緑化	新宿区役所本庁舎	新宿区
大崎・目黒エリア	クールタウンモデル推進事業	大崎駅西口地区	環境局
	ドライミスト設置	戸越銀座商店街	環境局
	保水性舗装	涼の道（豊町五・六丁目）	品川区
	街路樹再生	補助30号線（本町5～原町1）	目黒区
	屋上緑化	大井小中一貫校	品川区
品川駅周辺エリア	保水性舗装	海岸三丁目、芝五丁目	港区
	遊歩道緑化	芝浦アイランド	港湾局
	まちづくりガイドラインの策定等	品川駅周辺	都市整備局
推進エリアを含む7区	クールルーフ推進事業	千代田、中央、港、新宿、台東、品川、目黒区の屋上緑化・高反射率塗料工事を対象に補助事業を公募	クールルーフ推進協議会（7区と都のほか7団体で構成）
エリア外	保水性舗装	番町学園通り、竜泉三丁目、高島平一丁目	千代田区、台東区、板橋区
	遮熱性舗装	荒川遊園通り	荒川区
	河川護岸緑化	隅田川他3箇所	建設局
	街路樹再生	表参道、外環状線ほか3箇所	建設局
	公園・広場整備	城南島海浜公園他3箇所、駒場野公園ほか2箇所、 椎名町公園ほか1箇所	港湾局、目黒区、豊島区
	屋上緑化	都立学校・水道局施設・下水道局施設等、区立施設及び小中学校	水道局、下水道局、教育庁、台東区、品川区、杉並区、練馬区、江戸川区、北区、大田区、江東区、荒川区、中野区、渋谷区、墨田区
	壁面緑化	下水道局施設、区立施設及び小中学校	下水道局、板橋区、杉並区、北区、大田区、台東区、足立区、中野区
23区内	散水・打ち水		建設局、下水道局、環境局、各区
	打ち水に伴う再生水を提供	芝浦水再生センターほか2箇所	下水道局
都内全域	苗木生産供給事業	都内全域	産業労働局

（参考）

18年度総事業費： 32（億円）

事業規模： 保水性舗装： 19箇所、約53,000㎡

遮熱性舗装： 2箇所、約1,600㎡

河川護岸緑化： 4箇所、延長約1.8km

街路樹再生： 9箇所、延長約9.8km

公園・広場整備： 9箇所、約48,000㎡

屋上緑化： 38箇所、約17,000㎡

壁面緑化： 37箇所、約6,800㎡